2022年度　支部別会議

10月から11月にかけ、支部別会議が開催されました。

主に7月の参議院選挙の振り返りと今後の看護連盟活動について話し合いが行われ、リモートではありましたが活発な意見交換ができました。各支部での課題も明確となり、今後の活動への道すじが見えてきたように感じました。有意義な連盟活動ができるよう、支部内役員と協力していきたいと思います。

ＪＣＨＯうつのみや支部　石母田恵美

【出席者】

看護部長・支部長・支部幹事長・青年部　他

【所要時間】

２０分～３０分

【内　容】

３年後の選挙を見据えて　他

支部名	開催日	時　間	会　場
自治医大	10/ 6　木	13：30～	ZOOM
国際医療福祉大学	10/ 6　木	15：30～	ZOOM
日　　光	10/13　木	13：30～	ZOOM
大　田　原	10/13　木	14：30～	ZOOM
ＪＣＨＯうつのみや	10/13　木	15：30～	ZOOM
済生会宇都宮	10/13　木	16：30～	ZOOM
塩谷・塩原	10/18　火	13：30～	ZOOM
鹿　　沼	10/18　火	15：30～	ZOOM
菅　　那	10/20　木	13：30～	ZOOM
獨協医大	10/20　木	14：30～	ZOOM
栃　　木	10/20　木	15：30～	ZOOM
中　央　南	10/24　木	15：30～	コンセーレ
芳　　賀	10/27　木	13：30～	ZOOM
小　　山	10/27　木	14：30～	ZOOM
佐　　野	11/ 8　火	13：30～	ZOOM
足　　利	11/ 8　火	14：30～	ZOOM

2022年度　県別会議

日　時　11月18日（金）　**会　場**　ホテル東日本宇都宮

【経　緯】

2021年度は、第26回参議院選挙を約４か月後に控え、より実践に即した具体的な活動について、支部長・施設リーダー等を交えて検討し、高得票の獲得を目指した。

2022年度は、第26回参議院選挙を総括し、第27回参議院選挙に向け課題を明確化し改善策に繋げられる内容とした。

【目　的】

1）第26回参議院選挙総括から、各都道府県の課題解決への対策を明確にする。

2）連盟会員確保に向けて、各都道府県の課題、解決策を検討する。

COVID-19 第８波の影響により日本看護連盟　近藤幹事長　福田常任幹事は ZOOM での参加で、栃木県県別会議が開催されました。組織内代表候補に友納理緒氏が正式決定し、選挙まで約４ヶ月という短期間でしたが、全国の看護連盟が一致団結し、みごと当選しました。これは知名度アップのためリーフレット作成、インターネットの活用、施設訪問などの行動が票の獲得へ結びついたと日本看護連盟より報告がありました。栃木県看護連盟からは、看護協会と連携を図り、合同研修会で友納氏への講師依頼や研修会昼休みに友納氏の紹介ビデオ・講義等の放映を行い、候補者の周知に努めていったこと。また各支部で、職員の後援会入会に協力が得られ期日前投票の促進に努めることで、第 25 回参議院選挙より約 1200 票多い票を得ることができたとの報告がありました。少子化のため今後看護連盟会員の増加を望むのは難しく、また結婚や退職を機に退会する看護職もおり、どのようにアプローチしていくか、また選挙が終わった後にどのように活動していくかが重要となることが議題に上がりました。日本看護連盟岡山幹事より、投票に結び付けられるような活動が大切となり、役員以外で看護連盟の活動や国会に看護職を送る必要性を語れるプレゼンターの人材育成を16支部で連携を図り行っていくことが大切であることが伝えらました。伝える側のスキルを磨き、看護政策実現に向け連盟活動を理解して頂けるよう継続した支部活動を推進していきたいと思います。

獨協医大支部　神馬千登勢